

- 出品資格：五段以上。●用紙サイズは半切縦が角半。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

館野泉氏という左手のピアノニストを皆さん、ご存知ですか。館野氏は、六十六歳で脳出血により右半身マヒになり現在八十八歳。でも今尚、現役のピアニストとして活躍しています。プロだから当たり前かもしれませんが、毎日二時間の練習は欠かさないそうで、身の回りのことは自分でして一人暮らし。人生を楽しんでいます。その境地に行くまでには、そうとうの葛藤はあったでしょう。左手だけの演奏なのに、まるで両手でひいているような和音を奏でています。人の心と一緒に音には幅があるそうで、緩急、強弱が大切と。書道にも通じる深い言葉だと思えます。私も自分の作品に満足せず挑戦していきます。

かな部 次号課題

A ほのぼのと春こそ空に來にけらし

天の香具山霞たなびく (後鳥羽院)

ほのかに、春は空に來たらしい。今日見ると、天の香具山に、霞がたなびいている。

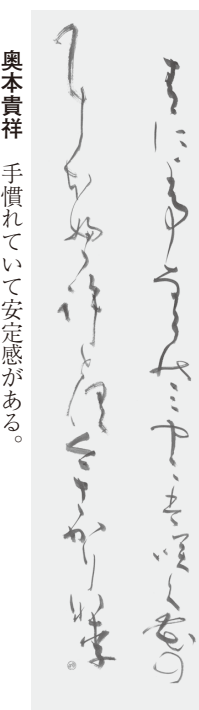
B 春の海終日のたりくかな

(与謝蕪村)

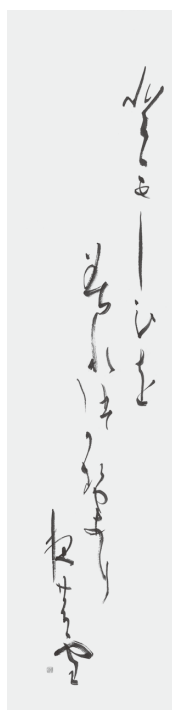
のたりくは、大きくゆるやかにうねる様の形容。のどかな春の海は一日中のんびりとゆるやかに浪うっていることよ。

優秀作品

〈師範・準師範の部〉

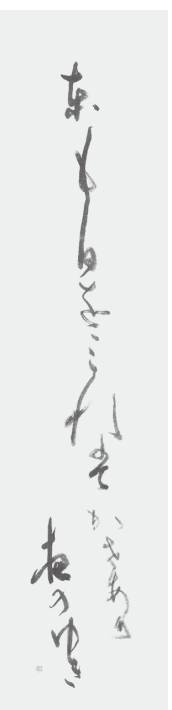


奥本責祥 手慣れていて安定感がある。

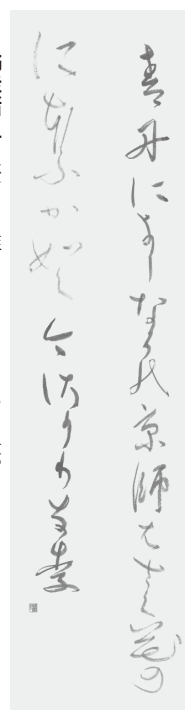


刑部月梢 引きしまった線で見事。「可」の点の位置一考。

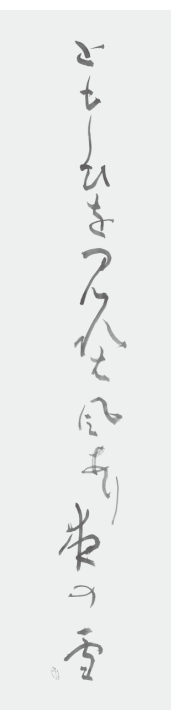
〈助教以下の部〉



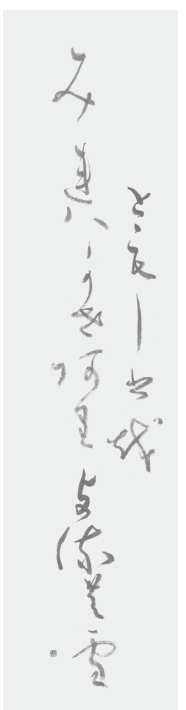
川嶋冷子 堂々と迷わない書きぶりが見事。



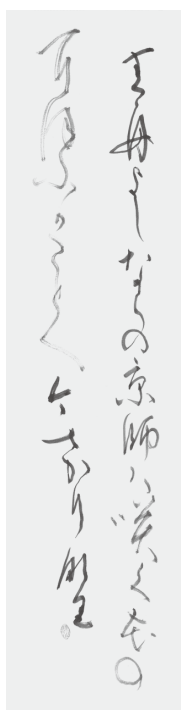
橘佳緒里 優しく難なくまとめていて佳。



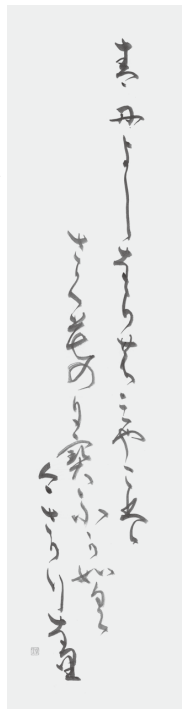
梶山昭子 終句の納め方がいいですね。



西嶋青暎 無理がなく温雅な作。



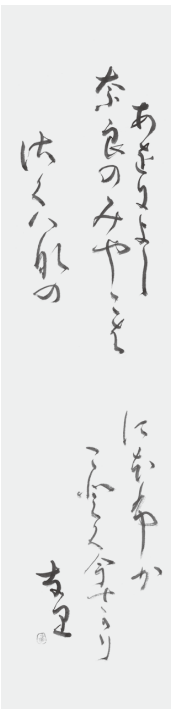
引場琴川 連綿の流れが美しい作。もっと中央をあけて。



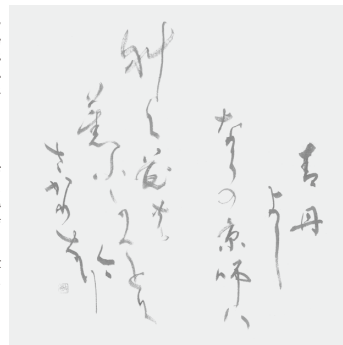
安積瑞泉 温雅で丁寧な筆致。一行目をもう少し右に。



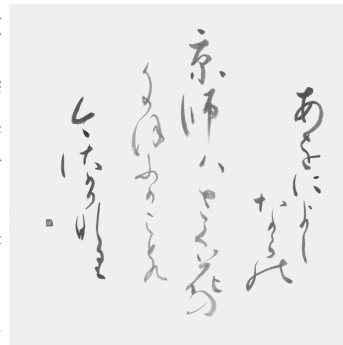
中村華峰 大きな、かまえて明るい作。



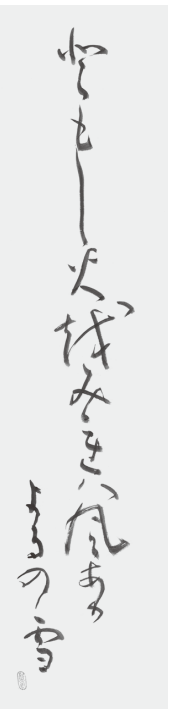
平原玉華 真面目な書きぶりに好感。



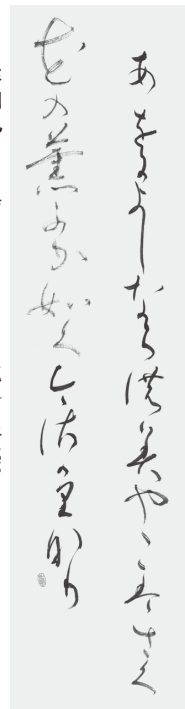
児島青恵 力まず流暢に書けている。



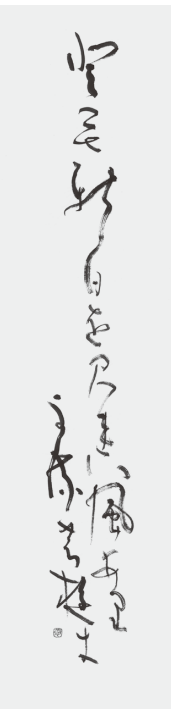
小倉 榮 無理のない書きぶりで心地よい。



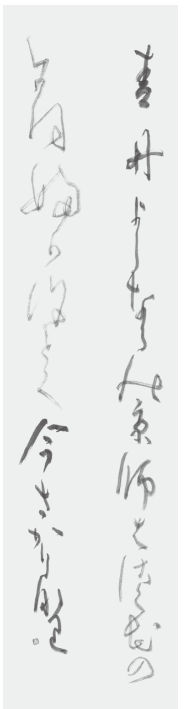
細川梨舟 確実な筆致で安定感あり。一行目後半に渴筆を。



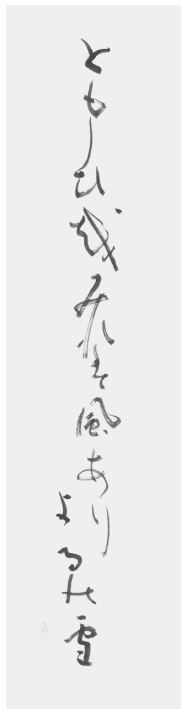
田麥知風 力まずゆつたりとした流れに好感。



木村恭翠 濃墨で達者な書きぶり。



種村みや子 無理のない流れで秀逸。



西村希美 ホツとする温かみのある作。